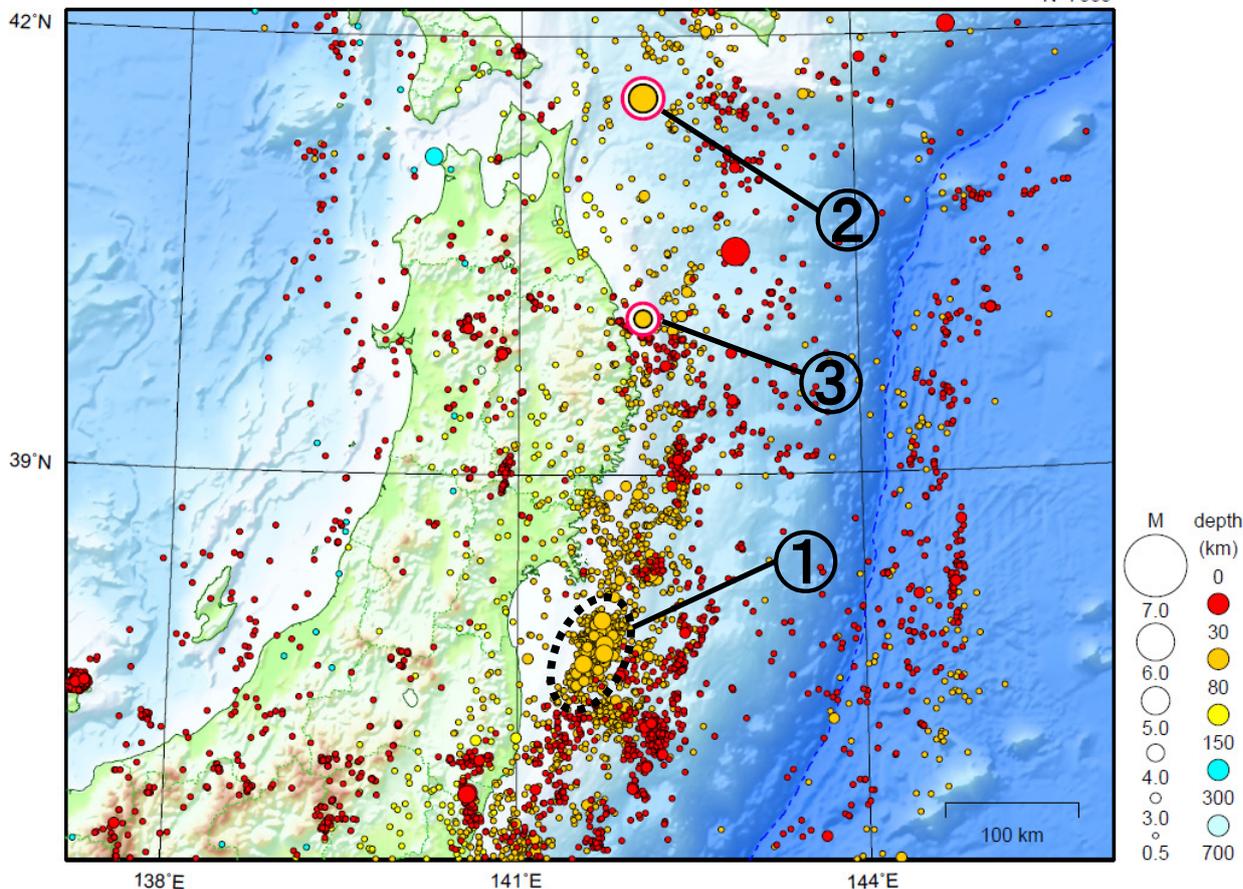


東北地方

2022/09/01 00:00 ~ 2022/09/30 24:00

N=7669



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 福島県沖では9月中に最大震度1以上を観測した地震が8回（震度2：4回、震度1：4回）発生した。このうち最大規模の地震は4日のM4.8の地震（最大震度2）である。

宮城県沖で発生した地震を3回含む。

- ② 9月13日に青森県東方沖でM5.1の地震（最大震度3）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は[浦河沖]である。

- ③ 9月20日に岩手県沖でM4.4の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

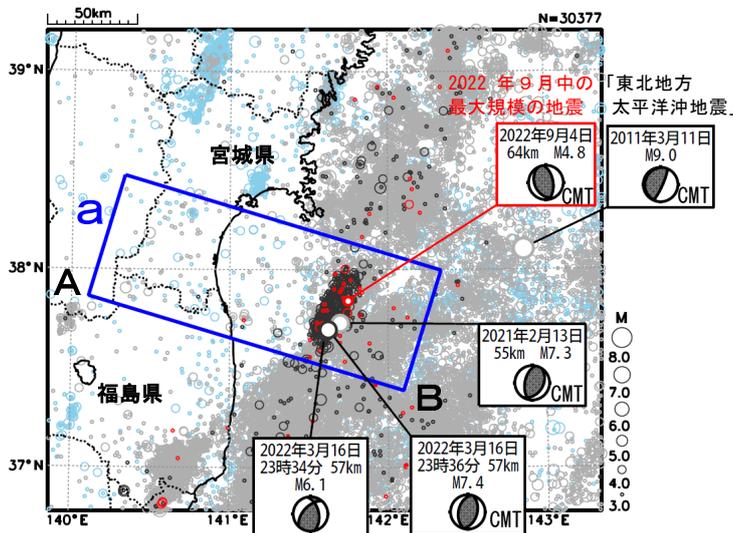
気象庁・文部科学省

福島県沖の地震活動（3月16日からの地震活動）

震央分布図

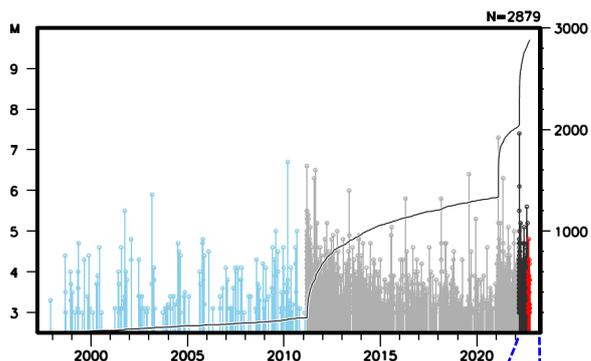
(1997年10月1日～2022年9月30日、
深さ0～150km、M \geq 3.0)

2011年3月10日以前に発生した地震を水色、
2011年3月11日以降に発生した地震を灰色、
2022年3月16日以降に発生した地震を黒色、
2022年9月に発生した地震を赤色で表示

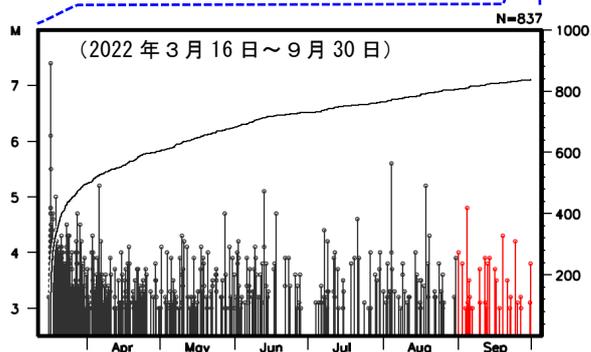
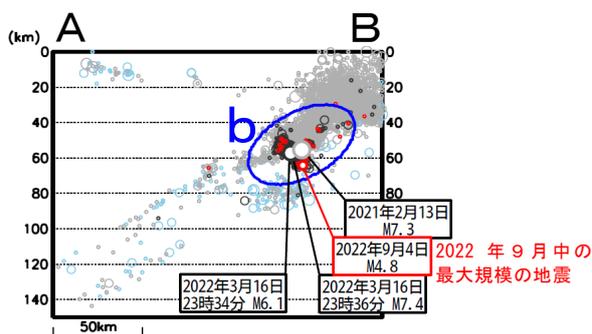


2022年3月16日にM7.4の地震（最大震度6強）が発生した後、この地震の震源付近（領域b）では地震活動が活発になった。9月の活動状況を見ると、当初と比べると低下してきているものの、依然として地震回数の多い状態が続いている。9月中の最大規模の地震は、4日に発生したM4.8の地震（最大震度2）である。この地震活動に伴い震度1以上を観測した地震の回数は、月別最大震度別地震回数表のとおり。

領域b内のM-T図及び回数積算図

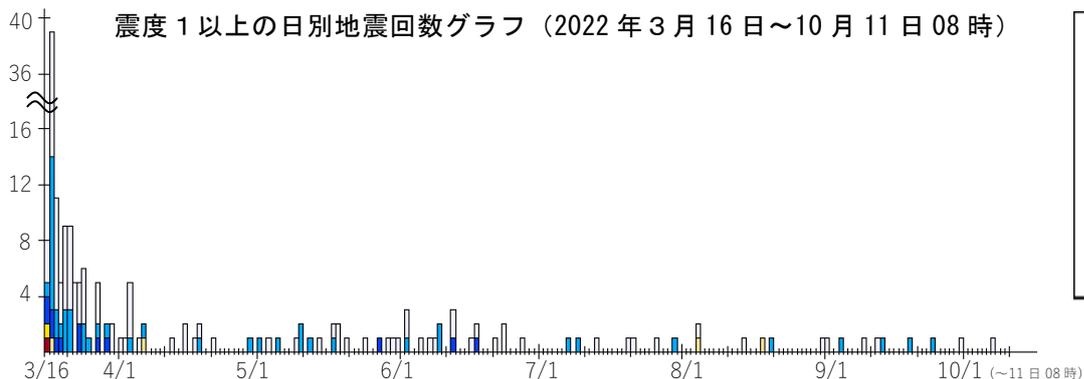


領域a内の断面図（A-B投影）



震度1以上の月別最大震度別地震回数表（2022年3月16日～10月11日08時）

期間	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数	
	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計	累計
2022/3/16～3/31	68	26	10	1	1	0	0	1	0	107	107
2022/4/1～4/30	13	4	0	1	0	0	0	0	0	18	125
2022/5/1～5/31	11	6	1	0	0	0	0	0	0	18	143
2022/6/1～6/30	13	3	2	0	0	0	0	0	0	18	161
2022/7/1～7/31	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7	168
2022/8/1～8/31	3	1	0	2	0	0	0	0	0	6	174
2022/9/1～9/30	4	4	0	0	0	0	0	0	0	8	182
2022/10/1～10/11 08時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	183
総数	117	47	13	4	1	0	0	1	0	183	

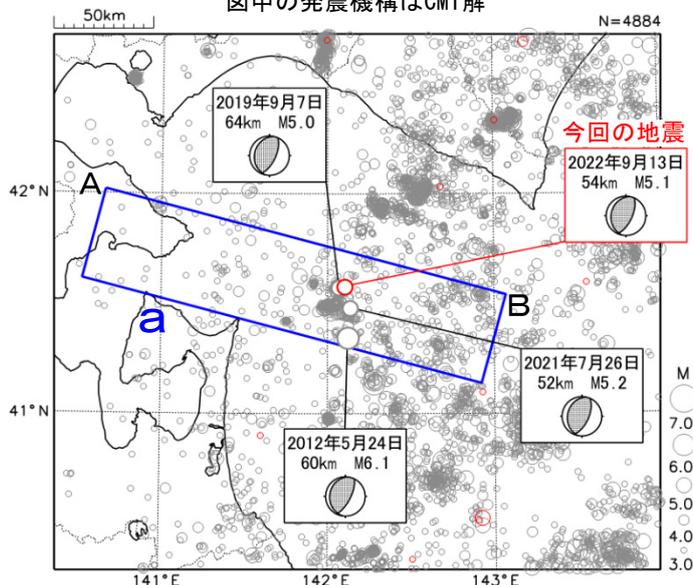


気象庁作成

9月13日 青森県東方沖の地震

情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

震央分布図
(1997年10月1日～2022年9月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2022年9月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

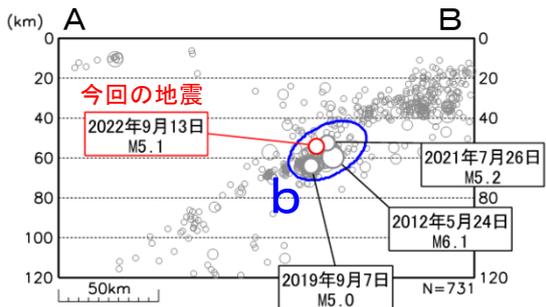


2022年9月13日09時51分に青森県東方沖の深さ54kmでM5.1の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

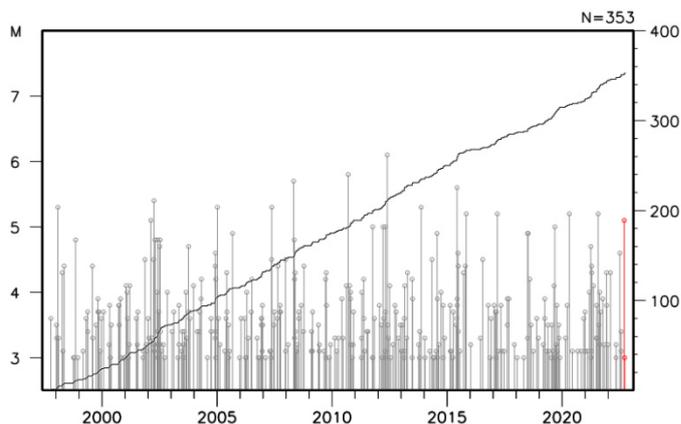
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2012年5月24日に発生したM6.1の地震 (最大震度5強) では、青森県で文教施設の一部分破損 (ガラス破損など) 10箇所などの被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生している。この中には、「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」 (M7.1、最大震度6) や「1968年十勝沖地震」の最大余震 (M7.5、最大震度5) も含まれている。

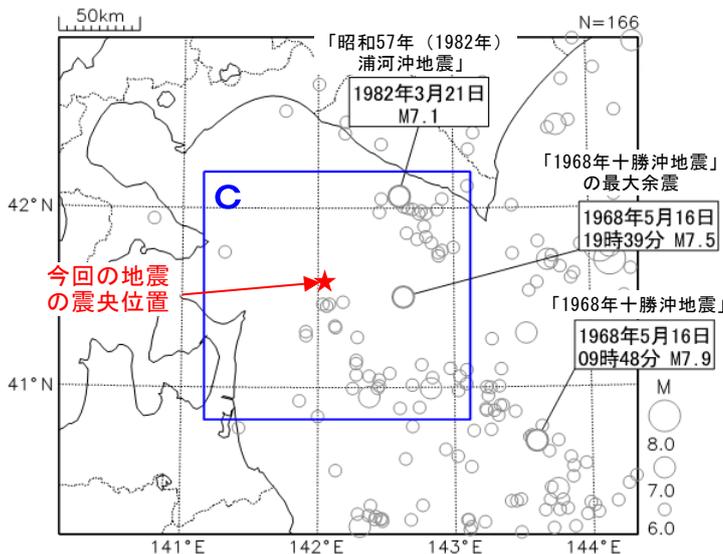
領域a内の断面図 (A-B投影)



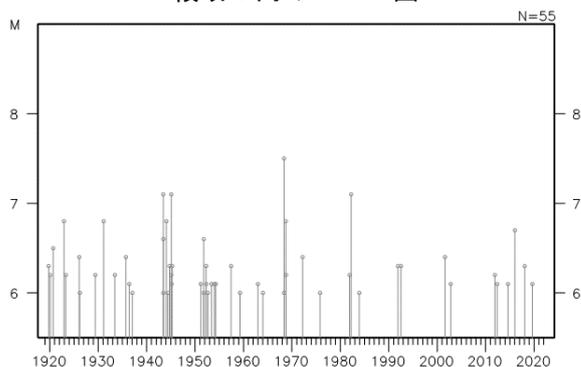
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2022年9月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

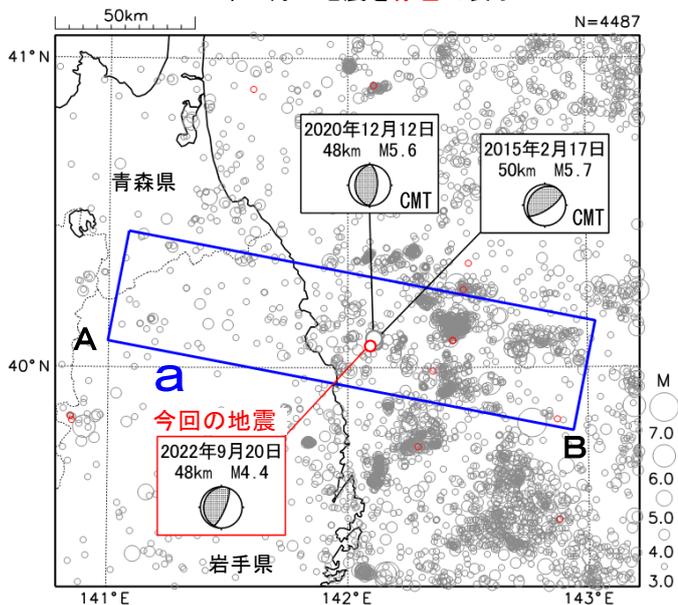


領域c内のM-T図



9月20日 岩手県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2022年9月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2022年9月の地震を赤色で表示



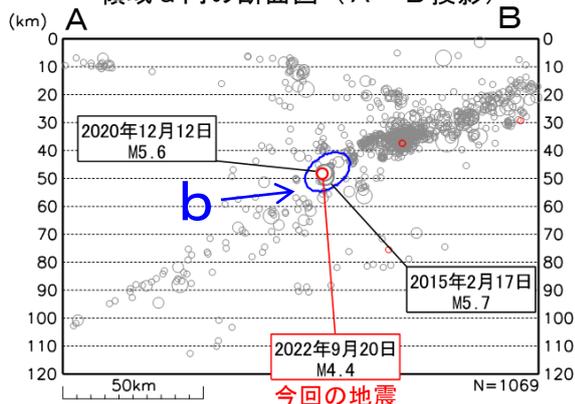
2022年9月20日09時06分に岩手県沖の深さ48kmで $M 4.4$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 4.0$ 以上の地震が時々発生しており、2015年2月17日には $M 5.7$ の地震（最大震度5強）、2020年12月12日には $M 5.6$ の地震（最大震度5弱）が発生した。

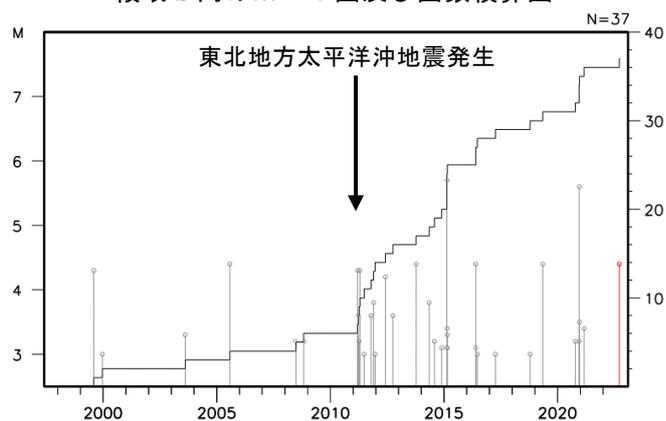
また、領域bでは、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震）の発生以降、地震の発生数が増加している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、1995年1月7日には「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震である $M 7.2$ の地震（最大震度5）が発生した。

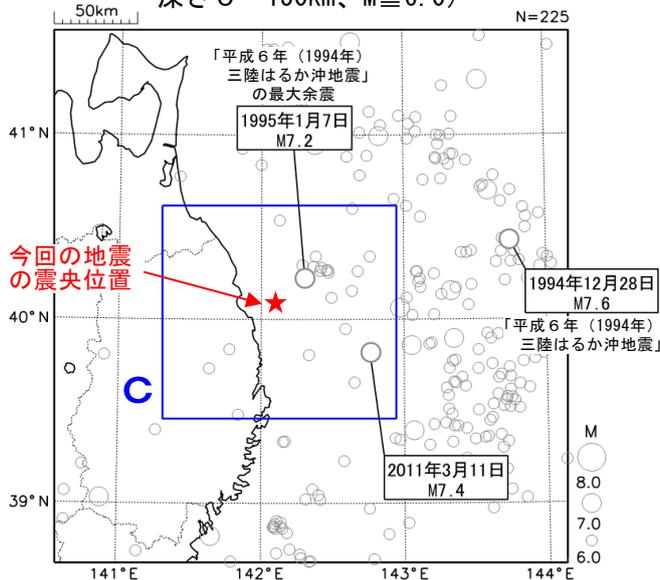
領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2022年9月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM－T図

